



岡山に住んで感じたこと

平尾重太郎

町内の皆さん、こんにちは。私は昨年4月定年退職し、他県（山口）から町内（8組）へ転入した者で、家内と二人暮らしです。よろしくお願ひします。

実のところ、私も家内も岡山県は全く未知の土地で、もちろん住んだこともなく、また親戚すら1軒もありません。定年後ここに住むことにしたのは、だいぶ以前岡山市の友人の世話で、ここに宅地を求めていたので、このたび家を建てたという次第です。これまで農水省の研究所や大学に勤務した40年間、転勤で秋田・広島・福岡・海外（マレーシア）・茨城・山口の順に移り住みました。

ところで、退職が近くなると多くの方から、退職後はどこに住まわれますか？と問われ、「岡山市です」と答えると、どなたも必ず『岡山はいいところですね』と言われました。岡山は気候が温暖で、交通の便がよく、中都市であることなどが念頭にあってのことで、このことは私が定年後に住むところとして岡山を選んだ理由と同じです。

さて、わずか1年間ですが当地で暮らした感想ですが、市内の道路は基盤目状で分かりやすく、さらに当町内とその周辺は区画整理されて便利がよく、静かで、新・旧2号線や岡山駅に近くて好都合です。昨年は異常気象で、「晴れの国」の実感はなかったですが、気候は私の故郷鳥取に比べ雲泥の差です。

一方、転入前多少気がかりだったのは、飲み水の質と風向きによっては水島の大气汚染の影響でしたが、これも幸に危惧に終わりました。意外だったことは、下水道の普及率が低いためか河川や町内の用水の汚濁が進んでいること、町内を分断している工事中の50メートル道路は、完工後でもかなり邪魔になると予想されることなどです。さらに欲を言えば、山が近くにあってもっと緑が見えたら良いなあと思っています。



田中野田1号公園



辰巴西公園



田中野田3号公園